

都内中小企業の事業資金に関する調査

(令和7年5月調査)

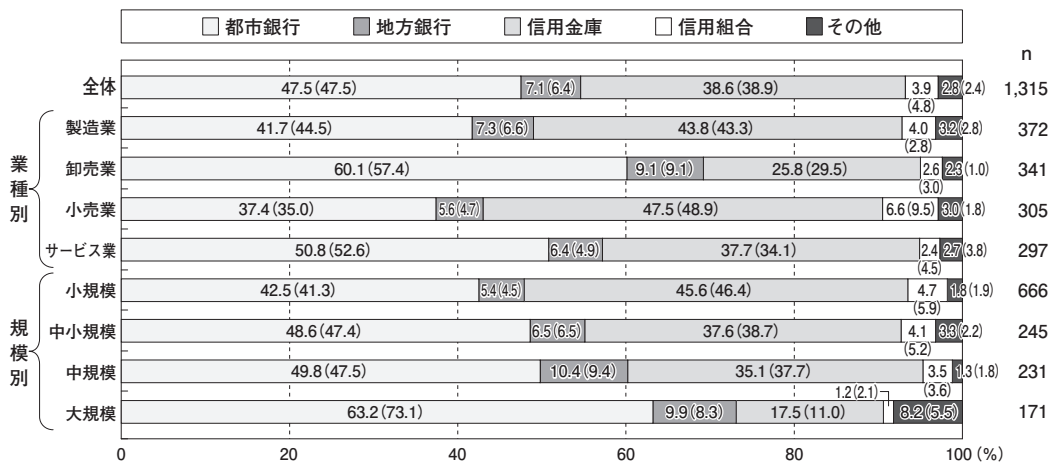
1. 主な取引金融機関

主な取引金融機関は、全体では「都市銀行」が47.5%（前回調査47.5%）と最も高く、「信用金庫」が38.6%（同38.9%）、「地方銀行」が7.1%（同6.4%）の順で続いた。

業種別にみると、他の業種に比べて卸売業は「都市銀行」の60.1%（同57.4%）と「地方銀行」の9.1%（同9.1%）、小売業は「信用金庫」の47.5%（同48.9%）と「信用組合」の6.6%（同9.5%）がそれぞれ高い。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「都市銀行」が高くなり、大規模は63.2%（同73.1%）を占める。

図表1 主な取引金融機関



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。() 内は前回調査（令和6年11月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

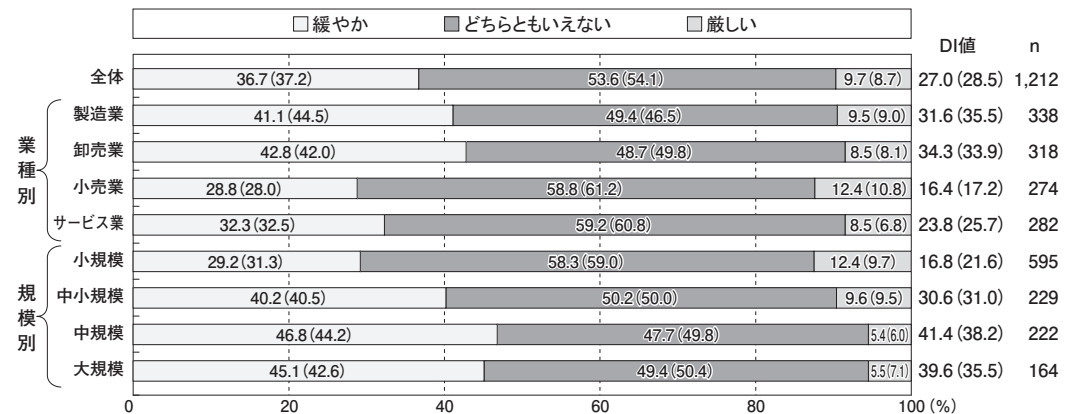
2. 主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢

主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢をDI値（「緩やか」－「厳しい」）でみると、全体では27.0（前回調査28.5）となり、前回調査と比べて1.5ポイント減少した。

業種別にDI値をみると、製造業31.6（同35.5）は3.9ポイント減少、サービス業23.8（同25.7）は1.9ポイント減少、小売業16.4（同17.2）は0.8ポイント減少した。

規模別にDI値をみると、小規模16.8（同21.6）は4.8ポイント減少、中小規模30.6（同31.0）は0.4ポイント減少した。

図表2 主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。() 内は前回調査（令和6年11月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

3. 主な取引金融機関からの借入金利

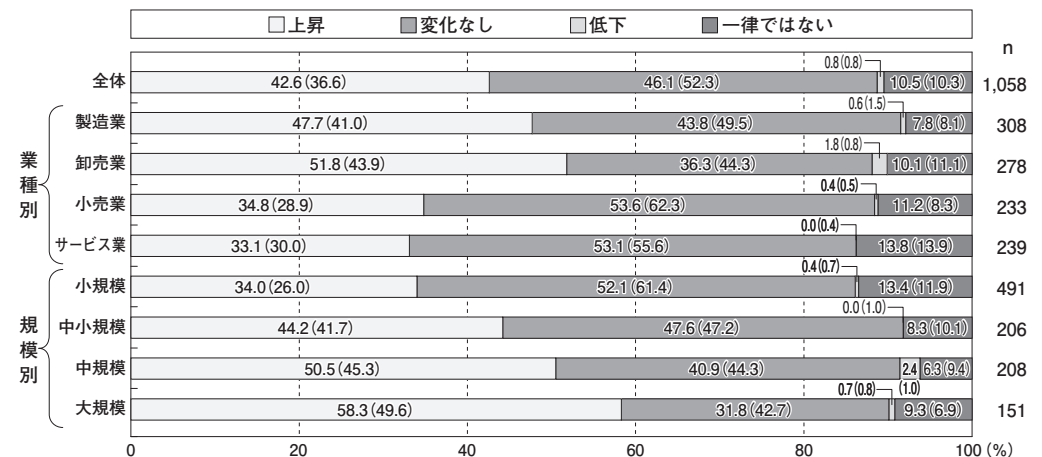
(1) 金利傾向

主な取引金融機関からの借入金利の傾向は、全体では「変化なし」が46.1%（前回調査52.3%）と最も高く、「上昇」が42.6%（同36.6%）、「低下」が0.8%（同0.8%）の順で続いた。

業種別にみると、卸売業は「上昇」が51.8%（同43.9%）を占める。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「上昇」が高くなり、大規模は58.3%（同49.6%）となった。

図表3 金利傾向



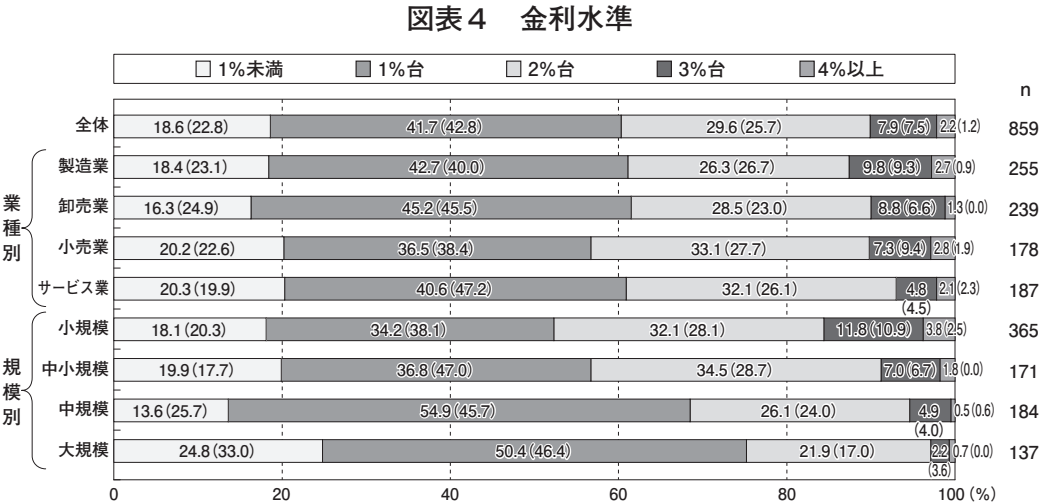
注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。() 内は前回調査（令和6年11月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(2) 金利水準

最近の借入金利は、全体では「1 %台」が 41.7%（前回調査 42.8%）と最も高く、「2 %台」が 29.6%（同25.7%）、「1 %未満」が 18.6%（同22.8%）の順で続いた。

業種別にみると、小売業は 2 %以上の割合が 43.2%（同39.0%）と 4 割を超える。

規模別にみると、規模が小さくなるほど 2 %以上の割合が高くなり、小規模は 47.7%（同41.5%）となった。



注）無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。（ ）内は前回調査（令和 6 年11月）の数値。
3 年超 5 年以内、保証協会の保証付以外。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

4. 資金需要

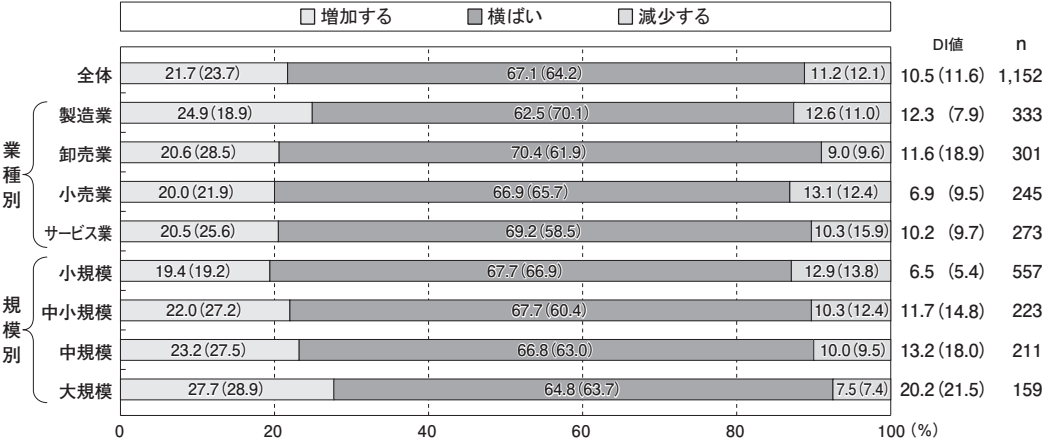
(1) 今後 3 か月間の資金需要

今後 3 か月間の資金需要をDI値（「増加する」－「減少する」）でみると、全体では 10.5（前回調査 11.6）となり、前回調査と比べて 1.1ポイント減少した。

業種別にDI値をみると、卸売業 11.6（同18.9）は 7.3ポイント減少、小売業 6.9（同 9.5）は 2.6ポイント減少した。

規模別にDI値をみると、中規模 13.2（同18.0）は 4.8ポイント減少、中小規模 11.7（同 14.8）は 3.1ポイント減少、大規模 20.2（同21.5）は 1.3ポイント減少した。

図表 5 資金需要（今後 3 か月間）

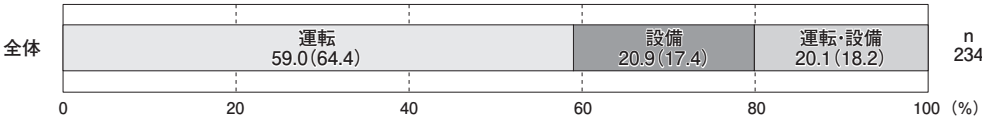


注）無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。（ ）内は前回調査（令和 6 年11月）の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(2) 資金使途

資金需要増加分の資金使途をみると、「運転」が 59.0%（前回調査 64.4%）と最も高く、「設備」が 20.9%（同17.4%）、「運転・設備」が 20.1%（同18.2%）の順となった。前回調査と比べて「運転」は 5.4ポイント減少し、「設備」は 3.5ポイント増加した。

図表 6 資金使途

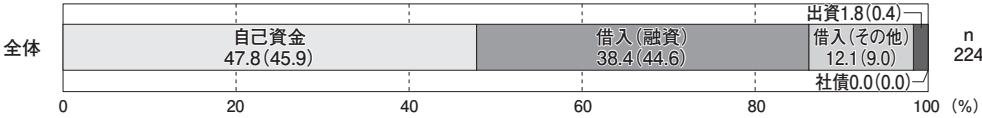


注）資金需要（今後 3 か月間）（図表 5）で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。
（ ）内は前回調査（令和 6 年11月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(3) 調達手段

資金需要増加分の調達手段をみると、「自己資金」が 47.8%（前回調査 45.9%）と最も高く、次いで「借入（融資）」が 38.4%（同44.6%）となった。前回調査と比べて「借入（融資）」は 6.2ポイント減少し、「自己資金」は 1.9ポイント増加した。

図表 7 調達手段



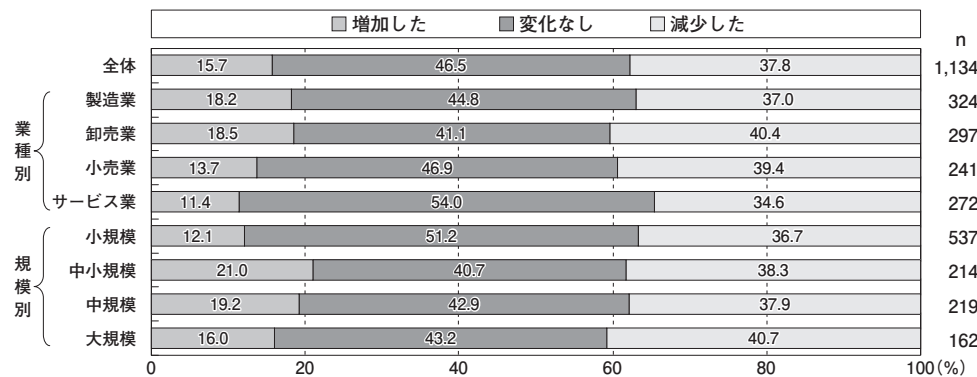
注）資金需要（今後 3 か月間）（図表 5）で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。
（ ）内は前回調査（令和 6 年11月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

5. 金融機関からの借入金総額の状況

(1) 借入金総額（前年同時期比）

前年同時期と比べた現在の金融機関からの借入金総額の状況は、全体では「変化なし」が46.5%と最も高く、「減少した」が37.8%、「増加した」が15.7%の順となった。業種別にみると、他の業種に比べて卸売業の「増加した」は18.5%と高い。規模別にみると、大規模は「減少した」が40.7%となった。

図表8 金融機関からの借入金総額（前年同時期比）



注）無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

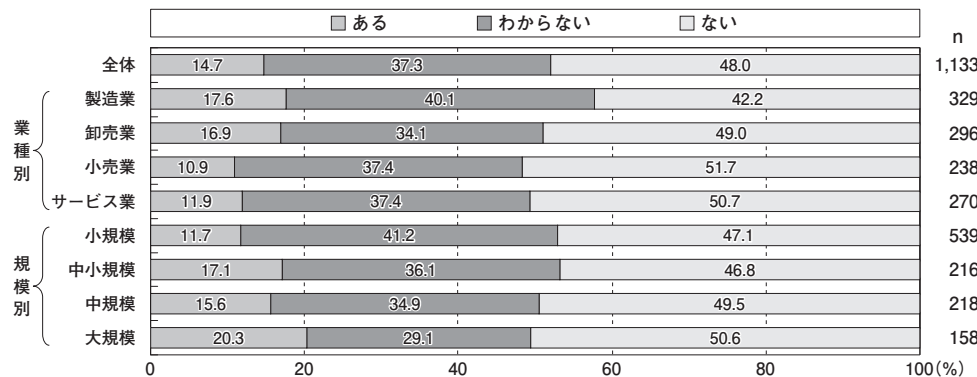
(2) 借入金総額の増加見込み（今後1年内）

今後1年以内に金融機関からの借入金総額が現在額を上回ることがあるかについては、全体では「ない」が48.0%と最も高く、「わからない」が37.3%、「ある」が14.7%の順となった。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業の「ある」は17.6%と高い。

規模別にみると、大規模は「ある」が20.3%を占める。

図表9 借入金総額の増加見込み（今後1年内）



注）無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。